

京都文化を、きわめよう。



京都の未来をつくる人へ

京都の魅力をさらに未来へと発展させるために、京都産業大学大学院では、新たに「京都文化学研究科」を開設します。伝統的な文化・芸術に対する高い教養や技能を持ち、地域社会、国際社会に貢献できる人材を養成します。

2019年4月 京都産業大学 大学院

京都文化学研究科 開設

京都文化学専攻(通信教育課程)修士課程

京都の未来をリードする人材を養成

1200年以上の歴史を持つ国際文化都市・京都。近年は、国内はもとより国外からの観光客も増加する中、2021年には文化庁の全面移転も予定されるなど、京都には日本文化を継承し世界へ発信していく、中心地としての期待が高まっています。

新たに誕生する京都文化科学研究科では、京都の未来をつくる人材を養成します。

“京都文化”を深く掘り下げるカリキュラム

4つの研究分野

歴史

明治維新まで首都として機能した歴史的な性格を文献史学的手法で解明

文学

古典書籍が集積する地の利を生かし、実証研究で作品を深く理解

文化財

有形・無形文化財を考古学、民俗学等の実践的手法を通して研究

伝統産業

ものづくりを理論と実践の両面から掘り下げ、産業の実態を研究

通信教育+スクーリング(面接授業)による効果的な学習

基礎科目

教員全員によるオムニバス方式の授業で、基礎的な知識と研究方法を修得

印刷教材による通信教育が中心。E-mailなどを活用したレポート課題の添削指導を定期的に受けることで、計画的に学修を進めていきます。

展開科目

研究分野を掘り下げながら、各自の興味・関心に応じ、研究の幅を広げる

演習科目

修士論文または特定課題研究報告書完成に向けて、より専門的・実戦的な研究を行う

フィールドワークや文献調査を組み込んだスクーリング(面接授業)を実施します。

仕事と研究を両立できる環境があります

自身のペースで取り組める通信教育課程

京都文化科学研究科は、時間の制約を受けずに修学できる通信教育課程です。仕事を持つ社会人でも、安心して学べます。

京都に精通した教員陣

京都文化学に精通する教員による少人数指導体制を実現。研究計画の作成から、論文執筆まで、きめ細かな指導が受けられます。

地の利を生かした学習が可能

演習では、研究テーマにより実地調査や制作体験等のフィールドワークも実施。京都を舞台にアクティブに学べます。

LMSを活用した先進の学習環境

学習管理システム・LMS (Learning Management System) を導入。先進のe-Learning設備で、研究を支援します。

忙しい社会人のための長期履修制度

標準修業年限は2年ですが、社会人が無理なく取り組めるよう、3、4年をかけて修了を目指す長期履修制度を設けています。

活躍のフィールドは無量大

官公庁

文化行政の企画立案力を身につけ、国際発信力をアップ

観光業界

京都の文化財を活用した観光振興

地域社会

地域の文化芸術活動を支える文化ボランティアに

伝統産業・美術工芸・伝統芸能等

業界の指導的立場となる職業人に

博物館・美術館・大学等

文化財保護・活用を推進する研究職に



むすんで、うみだす。

京都産業大学

設置概要

名称	京都産業大学 大学院 京都文化科学研究科(通信教育課程) 京都文化学専攻[修士課程]	開設時期	2019年4月
		入学定員	10名

(設置申請中:内容は予定であり、変更が生じる場合があります)